

げんぼく ばっさい 原木の伐採

1. 適した原木は
クヌギ・コナラ・シデ・クリなど。
2. 伐採の適期
葉が3~7分紅葉してきた頃
10月下旬~11月中旬頃
3. その理由は
貯蔵養分が多い
樹皮がはげにくい

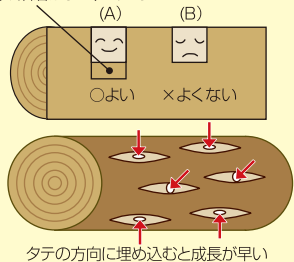
げんぼく たまぎ 原木の玉切り

1. 適期:
生木状態では、しいたけ菌は
成長しにくいので、一定期間
倒したままで乾燥枯死させ
ます。目次のとおりです。
2. 期間:
○クヌギ・コナラ類
30日~60日
○シデ類
15日~25日
○カシ・シイ類
5日~7日

しよくきん 植菌 (しいたけタネゴマを) 埋め込みます

1. 玉切りしたら、すぐにタネゴマを埋め込み、これを植菌といいます。
2. 植菌数量：原木 1 本当たり、末口直径(cm)の約2~2.5倍くらいの個数のタネゴマを植菌します。
3. 植菌する穴の深さは、タネゴマの長さよりやや深めにし、コマと材部にすき間をつくるとよい。(A)

種菌の活菌がよい) タネゴマ



ふいこ 伏せ込み (しいたけ菌糸を) まん延させる

1. 植菌したら、風通しのよい場所へ伏せ込みます。
2. 太陽の直射日光を受けると、原木内のしいたけ菌が弱ったり、死滅したりします。
(伐採した枝葉や遮光ネットでおおって、日光がチラチラ差し込む程度にします。)

しいたけのできるまで

みんなもっとしいたけを食べてね!!

しよくたく 私たちの食卓へ

こうして生産されたしいたけは、市場から小売店へ商品として売り出され、私たちの食卓へやってきます。

ば ほだ場 (しいたけを発生) させるところ

伏せ込んで1~2年経過すると、しいたけが発生してきますので、ほだ場へ入れます。(これをほだ起こしといいます。)

1. 適地：南面~東南面で、明るい常緑広葉樹林内が最適。風当たりが少なく、湿気が比較的あり、水の便が良く、排水のよいところ。
2. その他：適当な場所がない場合には、人工のほだ場をつくり、発生させます。